



#### 院長より

こんにちは。新年度が始まりましたね。今年から児童の「運動器検診」が始まるそうです。昔に比べて今の子供は「体は大きいけど運動不足」なので、スポーツ障害や将来のロコモティブシンドロームの予防をしようということです。

バランス能力や柔軟性などの項目が入ってきますので、対応としては理学療法士が全身状態の確認を行い、児童ひとりひとりに適した運動療法が主になると思います。

最近では室内などでゲームをする機会が多く、学校終わりに外で遊ばなくなった影響か、片足立ちも出来なくなっている児童が多い印象を受けます。

理学療法士がいる診療所はまだ少ないので、当院も地域のお役に立てる機会が増えそうです。気になる項目のある方は、スタッフにお気軽にご相談ください。

山科 佳弘（院長）

日本整形外科学会 専門医  
同 脊椎脊髄外科 認定医  
同 運動器リハビリ認定医  
日本リウマチ学会 専門医



#### 運動器検診の主な項目

- ① バランスと柔軟性（片足立ちができる、しゃがみ込める、両腕を真上に上げられる）
- ② オーバーユース（肩に痛みなく生活・運動することができる、肘をまっすぐのばせる、腰を痛みなく曲げたりそらせたりできる、膝のお皿の下を押すと痛い）
- ③ 脊柱側弯症（立った姿勢で肩の高さに左右差がある など。）

#### 新しい職員を紹介します

佐藤 文江（リハビリ助手）

2月よりお世話になっております。

午前だけの勤務となりますが、患者様のつらいところを少しでも緩和出来たらと思います。笑顔で頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。



土屋 明日香（リハビリ助手）

昨年12月よりお世話になっております。

医療系の学校に通いながら、毎週土曜日のみ勤務しております。患者様一人ひとりの顔と名前を覚え、少しでもお役に立てるよう頑張りたいです。よろしくお願い致します。



リハビリ科より

## <理学療法士って何だろう？>

理学療法士は Physical Therapist（フィジカルセラピスト：PT）とも呼ばれます。ケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発生が予測される人に対して**基本動作能力（座る、立つ、歩くなど）の回復や維持および、障害の悪化の予防**を目的に、**運動療法**や**物理療法**（温熱、電気等の物理的手段を治療目的に利用するもの）などを用い、自立した日常生活が送れるよう支援する**医学的リハビリテーションの専門職**です。治療や支援の内容については、理学療法士が対象者ひとりひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。  
（日本理学療法士協会ホームページより一部抜粋）



当院では、上記のように体を動かすリハビリである「運動療法」をメインとして、リハビリを実施しています。揉みほぐすだけのマッサージではなく、運動を通して姿勢や歩行能力の改善、痛みの予防を行っていきます。



山名町 1 5 4 8 番地  
**027-347-0202**  
<http://yamashinai.in.com>

